



木谷選手の投じたボールに注目する生徒

長崎県では、本年度から特別支援学校長会主催による「木谷隆行杯 長崎県特別支援学校ボッチャ大会」を開催しています。リオデジャネイロパラリンピックのボッチャ競技で銀メダルを獲得された木谷隆行選手が本県の特別支援学校の卒業生であることから、メダリストとの関わりを通してパラリンピックを身近に感じ、意欲的に日々の体育等の学習に取り組むことを主な狙いとしています。また、県内の肢体不自由特別支援学校に在籍する児童・生徒が、ボッチャ競技を通じた交流を図りながら、障害者スポーツや生涯スポーツへの関心を高める絶好の機会ともなっています。

県出身メダリストの名を冠したボッチャ大会

7月13日に木谷選手に参加していただき、記念すべき第1回大会を諫早特別支援学校で開催しました。午前中は、小学部5年生から高等部3年生まで計94人の児童・生徒が18チームに分かれて交流試合をしました。1ゲーム中に1回だけ木谷選手に投球を依頼できるという特別ルールを設け、アスリートの技術と集中力を間近に見ることができました。

午後は、ボッチャ甲子園に出場する2校の代表選手による木谷杯争奪対抗戦が行われました。緊迫した空気の中で競技する選手の姿を見て、「来年は私が代表選手に！」と憧れを持った児童・生徒が多かったです。

当日は、たくさん報道関係者に取材に来ていただき、障害のある児童・生徒がボッチャ競技に真剣に取り組む姿を広く県民に発信することができました。今後も継続して大会を開催することで、障害者スポーツへの理解啓発を図り、共生社会の実現を目指していきたいと考えています。

(宮尾尚樹・長崎県立諫早特別支援学校高等部主事)